

報告書抄録

ふりがな	やなぎいせき3							
書名	柳遺跡Ⅲ							
シリーズ名	草津川改修事業ならびに草津川放水路建設事業に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	X							
編著者名	平井美典・植田弥生・鈴木 茂・新山雅広							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	〒520-0044 大津市京町四丁目1番1号 TEL 077-528-4674 〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1732-2 TEL 077-548-9780							
発行年月日	西暦2006年3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
やなぎいせき 柳遺跡	くまつしあおじちょう 草津市青地町	25206	020	35° 00' 48"	135° 58' 07"	20000719～ 20010117 20010725～ 20020204	18,450㎡	草津川改修事業 ならびに草津川 放水路建設事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
柳遺跡	墓	弥生時代後期	方形周溝墓1基		弥生土器			
	集落	弥生時代後期 古墳時代中期末	河道 河道		弥生土器 須恵器・土師器			
	集落	平安時代後期～ 鎌倉時代	掘立柱建物4棟 河道・溝		土師器・黒色土器・ 灰釉陶器			
	田畑	鎌倉時代～室町 時代	水田・掘立柱建物 1棟		土師器・黒色土器・ 陶器・柿経			
要約	13世紀後半から16世紀にかけての3面の水田面を確認した。水田の上面は洪水砂に覆われている部分も多く、ヒト・ウシの足跡や鋤痕が遺存する。水田に先行する遺構には、弥生時代後期の方形周溝墓や河道、5世紀末の溝・河道、12世紀後葉～13世紀初頭の掘立柱建物群、13世紀中頃～後半に埋没する河道などがある。水田遺構は栗太郡条里地割に合致し、掘立柱建物も同方位をとっており、当地域における条里の施工状況や中世土地利用のあり方を知るうえで良好な資料が得られた。							